

## つわぶき繋がり隊

「得意」と「つながり」大切に、続く喜入のマナビバ



山下みこと(やました みこと)  
鹿児島県立鹿児島中央高等学校 2年

# つわぶき繋がり隊

「得意」と「つながり」大切に、続く喜入のマナビバ

山下みこと



## 活動概要

### 活動の内容

喜入地域で小中高生の学びのサポートをする任意団体「喜入マナビバプロジェクトつわぶき」の会長として以下のことを行いました。8月27日(土)に喜入公民館研修室で「英語の宿題しよーぜ!」という英語をテーマにしたイベントを外部の講師を招き開催。11月13日(日)に地域の子供達や親子対象とした「歩いて知る喜入の町」という喜入町を巡るウォークラリーイベントを開催。11月23日(水)定期テストに向けた質問できる自習室を開催。地域ボランティア活動への参加。団体メンバーに対して得意なことに関するアンケートの実施。

### 活動の特徴(新規性・発展性)

喜入マナビバプロジェクトつわぶきは今年で2年目になります。代表が団体運営をし、私が主な活動を担当しています。多くの人に活動を知ってもらうために学習イベントだけでなく今年度はメンバーの得意や興味を活かしたイベント、喜入地域に注目したイベントなども参加費無料で開催しています。特に私は地域の方々との繋がりを大切に活動することを心がけています。繋がりの中でメンバーとの交流を大切にすることも特徴の1つです。

### 活動の成果

「喜入子育てコミュニティKADAN」さんと交流する機会が増え、今まで関わることもなかった年代の方々と直接お話しすることが多くなりました。その中で、私達の団体のことを知ってもらえたり、イベントのお知らせができたりと認知度を上げることができました。さらに、地域の方々との刺激し合うことで私自身も団体も成長することができました。また、コミュニティスペース「きいれば」の建設のきっかけの1つにもなりました。

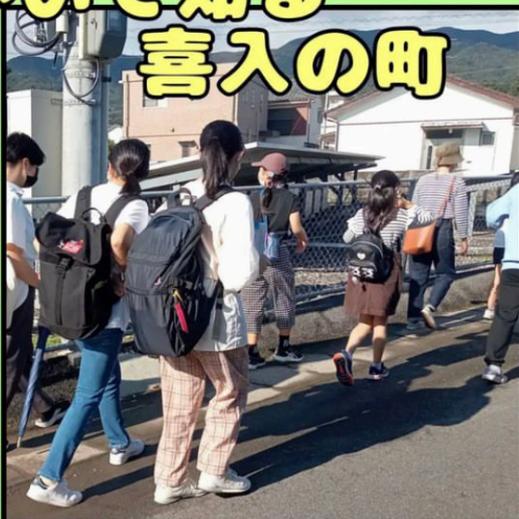
## 課題の設定と意図

主な課題は、つわぶきを地域に根付かせ今後も続いていくにはどうすればよいのかということです。昨年の地域探求プログラムで現代表が出された団体の存続を言う課題に対し現代表と私で話し合い、活動資金の確保など団体運営をする代表と中高生メンバーをまとめ実質的な活動を行う会長の二職を置く新しい団体構成にしました。しかし、メンバーの学校や学年が異なることから活動の頻度が落ちたり、会長としてなすべきかわからなくなったりしていました。また、あまり話したことがないメンバーとの距離感にも悩まされ、活動を平等に振り分けることができませんでした。それに加え活動内容に対する認知度が低く安心して参加できる学びの場を作れているのか不安に思うこともありました。これらのことから、団体の存続を主な課題に設定し実践活動に取り組みました。

## 課題解決のための仮説と計画

- ・喜入のボランティアに積極的に参加する→喜入のコミュニティに深く参加することによって団体の認知度を上げることができるのではないかな。
- ・メンバーの得意に関するアンケートを行う→団体メンバーの交流のきっかけになるとともに、一人一人の長所を活かした団体活動ができるのではないかな。
- ・名刺を作成する→団体活動を通して出会う人に「つわぶき」のことを覚えてもらう手がかりになり、認知度を上げるツールとして有効なほか、今後の活動でつながる可能性をもたせてくれるのではないかな。
- ・新型コロナウイルス感染症対策の強化を行う→参加者の方に安心して「つわぶき」の団体活動に参加してもらえる基準にのりではないかな。
- ・喜入公民館で活動を行う→喜入に住んでいる人が気軽に訪れる事ができる場所で活動を行うことによって、団体に親しみやすさを感じて活動に興味・参加をしてくれるのではないだろうか。
- ・喜入の歴史や伝統に関するイベントを行う→喜入に住んでいる人も喜入のことを知らない人も一緒に興味を持ってイベントになるのではないかな。そのことによって、喜入と周りの地域との関わりも生まれるのではないだろうか。
- ・広報の種類を増やす→より多くの人に団体のことについて知ってもらえる選択肢が増え、結果的に認知度が上がるのではないだろうか。

# 歩いて知る 喜入の町



8月27日(土)  
午後1時~4時

講師:有村先生(喜入地区の英語の先生)

夏休みの  
英語の宿題  
しよーぜ!

定員:20人(予約制)

対象:小学生、中学生、高校生

場所:喜入公民館ホール(喜入支所)  
(〒881-0202 鹿児島県鹿児島市喜入町7-2-2)  
主催:喜入マナビバプロジェクトつわぶき

前半は英語のゲーム・歌  
で楽しもう!  
(景品もあそび!)  
後半はみんなを勉強します!



## 活動で工夫できたこと

OR合宿に参加する前は喜入でどのような活動を行っていたか、学習イベントをより良くするための方法時はないだろうかと模索していました。そのヒントがなにか得られるのではないかとOR合宿に望みました。実際、OR合宿一日目はフィールドワークで平和学習を行い、鹿屋の戦争の証拠や当時の生活を伺える資料館などを地元のガイドの方とめぐりました。ガイドの方に案内されて現地を巡るときはとてわかりやすい説明と実際にみた戦争の建物にとても驚き興味を持ちました。このことは喜入でも外部からきた方に喜入の魅力を説明する際に有効な手段なのではないかと感じました。そして、「歩いて知る喜入の町」というウォークラリーイベントでは対象年齢が小さい親子連れの方々も含んでいたためガイドをする代わりに喜入の現在の地図と昔の地図の二つの資料を渡して参加してもらうことによって喜入の町並みに興味・関心を持ってもらえる工夫を行いました。また、実践活動を行った中でOR合宿で学んだわかりやすいポスターの書き方を参考に実践活動用のポスターや実践活動当日の資料を作成しました。紙だけではなくSNSにイベント情報を投稿する際にも見やすく引き込まれるデザインを意識して制作しました。また、今までイベントのポスターは喜入の小・中学校と喜入の商店、SNS等に配布・掲示を行っていたのですが今回の「歩いて知る喜入の町」のポスターは「喜入コミュニティKadan」さんが行っている「子ども食堂」でお弁当を配布する際に、受け取りにきた喜入の小学生の親子に直接イベントの案内を行ったところ、イベント当日想定以上の参加者の方に集まってくれました。なお、OR合宿以降は従来の新型コロナウイルス感染症対策に加え、屋内で活動を行う際のサーキュレーターの導入をし、保健・衛生に注意して行いました。イベント終了後はSNSで活動の様子を投稿し、団体活動に興味をもらうきっかけづくりをしました。

## 定期テスト前

# 自習室 開催します!

参加費無料・予約不要

●日時  
**6月19日(日)**  
午前10時～午後2時

●場所  
**喜入八幡温泉保養館**  
(道の駅きいれ)  
**2F 第一会議室**

最後の**追い込み**に  
家じゃ**集中**できない  
誰かに**教えてほしい**  
そんな人に**オススメ!**

つわぶきの  
学習リポ-ターの方に  
**質問**できます!

●中学5教科  
●高校(数学・英語・物理  
化学・現代文)

昼食時間・スペース  
あります ☺



※新型コロナウイルス対策のため、  
受付時に氏名・住所・電話番号の  
記入をお願いします。

公式SNSはこちら!  
Instagram・LINE・Twitter・Facebook



主催: 喜入マナビプロジェクト つわぶき  
✉ kiire.manabiba@gmail.com

## 活動で得た学び・気づき

今まで団体活動の内容も一人で抱え込んでしまうこと多く、行き詰まるとは止まることを繰り返していましたが、OR合宿で講義中の講師の先生の「自分ひとりではできないことには限界がある。信頼できる大人に相談したりもしない。」という言葉聞いて周りの視野が広がりました。「喜入マナビプロジェクトつわぶき」の二代目会長としてイベントを企画していく中で、思い通りにいかないことや、自分の不甲斐なさに落ち込むこともありましたが、そのたびに応援してくださる周りの人に話を聞いてもらったり、協力してくださったりすることによって実行に移すことができました。そして人に頼ってもいい、協力をお願いすることも大切だということをメンバー同士で話し合うときや協力・サポートしてくださる大人の方々や取り取りをする中で実感しました。また、OR合宿に参加して出会ったメンバーが活躍している噂を耳にしたり、目にしたりした時とてうれしく思うと同時に「私もやってみよう」と鼓舞されました。また、私自身高校生になってから喜入地域と関わる機会が少なくなっていたのですが、団体活動を通して自分たちの団体の名前を知っていると声をかけてくださる方や、応援してくださる方にとてもパワーをいただきました。KADANでの子ども食堂のボランティアに数回参加したときは、普段料理をしない私なのですが、数人で百個以上のお弁当を作る大変さとやりがいを感じる事ができました。たくさんの方と団体活動を通じて関わる事ができましたが、そのたびにその場での出会いだけではなく、次の行動に移っていく中でまた関わり合いが生まれていたりする「縁」というものを強く感じました。特に「英語の宿題しよーぜ!」の講師にきてくださった方は、以前行ったつわぶきのイベントの参加者だったらしく、私達の活動を体験してなにか協力したいという思いで英語の講師としてイベントのお話を持ちかけてくださいました。「縁」通じた出会いで今後のつわぶきの活動が起こることもあると思います。去年OR合宿のことを全く知らなかった私が今年参加できたことはまず、「喜入マナビプロジェクトつわぶき」に入ろうと現代表に声をかけてこの団体に入ったことがきっかけでOR合宿のことを知ったからです。そして、OR合宿に参加して手に入れた知識・経験をもとに喜入で活かそうと思えたのもOR合宿に参加するという行動に一步出たからです。言葉だけ口にして行動に移すことがめんどくさくてしなかった私が団体活動を通して、まず動いてみることの価値と面白さに気づくことができました。そして何よりも喜入の町や人と深く関われるようになったことが何よりうれしく、一番の学びです。これからも一つずつの繋がりを大切に活動していきます。

## 今後の展望・新たな取組み

OR合宿に参加するという一步を踏み出してから、いろいろな人とつながって団体活動への刺激を受けました。3つのイベント開催を振り返って一人では絶対できないことであって、繋がりから「縁」から可能性は広がるのだなと思いました。そのことがとて楽しく感じ、これからも地域に根ざした活動に関わっていきたいという思いが芽生えました。高校二年生の私はそろそろ進路を決めていく時期になるのですが、地域に関わっていけるスキルを得られる進路に進みたいと考えています。地域に関わる方法はとて幅広くあると思うので自分が興味を持ったものに対してまず行動を起こしてみ、失敗を恐れずに挑戦していきたいです。今は、「喜入マナビプロジェクトつわぶき」の活動を広めることと喜入に住んでいる学生に「マナビバ」をより良い形で使ってもらえるように頑張ることを目標にしています。具体的には、今まで定期テスト前に開催していた自習室なのですが、今後はきいれ浜田クリニックの浜田院長が運営する近日完成予定のコミュニティスペース「きいれば」で週一回の頻度で定期的に開催する予定です。今までよりも駅や喜入の真ん中に近い位置に建てられているところなのでより多くの学生がより訪れやすく利用できるようになります。学校の帰り道などに利用してもらえると嬉しいです。また、団体メンバー一人一人とお互いのことを知る機会を作って行きたいです。メンバーの誰もが自分の長所を生かしてこの団体だからこそできる体験をしてもらえるように。現在、「学びの祭典」というメンバーの企画持ち寄りイベントを開催する準備をしています。このイベントの会場も「きいれば」を使用させていただけるので、新しい施設をほぼ一番乗りで使わせていただけることがとてありがたいです。周りの方の協力があって普通にや叶えられないような活動ができるようになりました。期待に答えられるようにマナビバの存続という課題をこれからもあげながらOR合宿を筆頭に学んできたことを生かして興味を持ってもらえる活動ができるよう工夫をしていきたいです。何年先も「マナビバ」が続いていけるように。

## 1. 地域探究アワードエントリー情報

エントリー希望	有	エントリー単位	グループ	ブロック	九州・沖縄
グループメンバー	氏名①	山下 みこと		氏名③	
	氏名②	東 琉斗		氏名④	

## 2. オリエンテーション合宿及び実践活動の基本情報

合宿実施先	国立大隅青少年自然の家		修了日	2023/7/18	カリキュラムのタイプ	A
フィールドワークの内容	鹿屋での平和学習や「高須ぶらり街歩き」を通して地域を深く知る楽しさと隠れた地域の魅力の可能性に気づくことができ、自分の地元にも試せることがあるのではないかと興味が湧いた。					
実践活動期間	2021/10/24 ~ 2021/11/23					
活動のタイプ	発展的な活動					
協力者	主な協力者			協力内容		
	所属	薩摩スチューデント23アカデミー		実践活動の補助		
	氏名	上野晋太郎				
	所属	喜入子育てコミュニティkadan		実践活動の助言・補助		
	氏名	亀井愛子				
	所属	なし		実践活動の補助		
氏名	設楽英二					
協力者総数	7名					

## 3. 実践活動の記録

(1)総活動日数 全 31 日

事前:準備・打合せ	25日	本番:メインの活動	4日	事後:ふりかえり・報告	2日
-----------	-----	-----------	----	-------------	----

(2)活動成果の発信等

媒体	方法	回数	概要・備考
その他	自ら発信	3回以上	喜入の小・中学校にイベントポスターを配布した。
SNS	自ら発信	3回以上	Instagram、Facebook、Twitterのアカウントを開設し、イベント情報を投稿した。
その他	自ら発信	2回	喜入市役所、喜入にある商店にポスターを配布し、店頭に貼っていただいた。

(3)主な活動記録

活動日時	区分	活動場所	活動内容
8/23 ~ 8/23	②実践活動本番	喜入市役所2階研修室	「英語の宿題やろーぜ！」という学習イベントを行った。
11/3 ~ 11/3	①事前学習・打合せ等	喜入市役所3階	団体の今後のイベントの企画、方針をメンバー同士話し合っ考えた。
11/13 ~ 11/13	②実践活動本番	善行寺、喜入地区	喜入地区を巡るスタンプラリーイベントを行った。
11/23 ~ 11/23	②実践活動本番	喜入八幡温泉保養館第一会議室	学生を対象とした、定期テスト前の自習室を行った。

## つわぶき繋がり隊

“得意”と“つながり”大切に、つづく喜入のマナビバ



## つわぶき繋がり隊

“得意”と“つながり”大切に、つづく喜入のマナビバ

東 琉斗



### 活動概要

#### 活動の内容

私は喜入マナビバプロジェクトつわぶきのメンバーとして喜入地域のマナビバを充実させるために以下のことを行いました。

①「喜入マナビバプロジェクトつわぶき」のイベントとして、8月7日9～12時に喜入公民館で計算ブリッジというゲーム大会を開催しました。②私は団体では唯一の会計として活動に携わっています。団体の金銭をより円滑に、そして効率的に管理できる工夫をしました。③鹿児島市が主催する「PlayCity! Days」という地域創生事業に参加し、地元メンバーとして関わりました。

#### 活動の特徴(新規性・発展性)

この活動は企画・運営が中高生が中心という点が特徴で今回も高校生である私が担当となってイベントを実施しました。団体自体は現代表が昨年立ち上げ、質問できる自習室を軸に活動しています。私は特に継続と人脈をテーマに活動しています。現在、持続的な活動を求められ団体活動の岐路に立っています。そこで私は人脈を意識しました。活動を続けるには多くの様々な人と交流することであると仮定して実践活動に取り組みました。

#### 活動の成果

イベントでは地元でとれた農作物を賞品にしたり、喜入町をまわりクイズに答えるイベントを開催したりと、団体の活動内容を知ってもらうと同時に喜入地域について深く知ってもらう機会をつくることができました。広報の場を増やし、地域の方々に知ってもらえる機会を増やせたことも成果の1つです。また、PlayCity! Days(以下PCD)では人とつながることの大切さ、自ら動くことの大切さを学ぶことが出来ました。

### 課題の設定と意図

私は次の2つの課題を設定しました。

1つ目は埋もれている地域の魅力です。喜入地域には自然や歴史が多くありますが、地元の人にはあまり知りません。私は喜入の自然や歴史を知ってもらい、今まで以上に喜入地域を好きになってもらいたいと考えました。

2つ目は仕事の困難さです。私自身、高校生であるため、学校行事や勉強で会計業務が滞ってしまい、休日に大量に仕事が溜まるがありました。また、単純に仕事量が多いことも原因の一つです。この団体はまだ2年目でデータがなく、自習室やイベント、研修、その他全ての金銭の動きを記録し、アナログとデジタルの両方で管理していました。他にも会計という仕事柄、社会でもあまり財務のコツ等が紹介されておらず、どのように業務をこなしていくのが分からず、苦労しました。このままでは今後会計をする後輩が大変になってしまい、団体の継続が難しいと感じました。

### 課題解決のための仮説と計画

1つ目の課題に対して3つの仮定を立て実践活動に取り組みました。1つ目はイベント内の賞品を喜入産の果物やめんつゆなどの特産品にすることで喜入の有名な物を知ってもらえるのではないかとことです。2つ目は喜入の町をクイズを出しながら歩いて巡るイベントを開催することで今まで知らなかった喜入の魅力について気づいてもらえるのではないかとことです。3つ目はPCDのメンバーに喜入地域の魅力や歴史をプレゼンすることで自分自身も喜入の魅力を再認識でき、他の地域の人にも喜入のいいところを知ってもらえるのではないかとことです。

また、2つ目の課題に対しての解決方法としては3つの案(ABC案)を考えました。A案は組織の改編です。来年度から組織の構成を一新させて、会計担当を2人とし、膨大な業務を横に割って、単純に2分の1にする方法です。これを行うことで簡単に一人の仕事負担量は減らすことができます。B案は組織の改編にプラスして会計業務を分割することです。例えばアナログとデジタル、レシート・領収書の記入と報告のように業務を縦に分割することで会計の流れをよりはやく、より正確にすることが可能と見込めます。C案は会計業務はそのままだ、仕事量自体を減らすことです。例えば、レシート・領収書に書かれていることは重要な部分以外は記入しないことやデジタルに変換する作業をせずに必要なときのみ、グラフなどを作成するというです。このABC案は来年度までに代表をはじめ、メンバーや協力者と共に協議していく予定です。



## 活動で工夫できたこと

今まで限られた場所しかイベントを開催していませんでしたが、①のイベントでは団体として初めて、地域の誰もが利用しやすい公民館を使用してのイベントでした。今回のイベントの規模が大きいことと新たな場所でイベントを開催することによって、私たちの活動をより身近に、より参加しやすくなると考えたからです。イベントの趣旨は数に触れることでしたが、裏テーマとして、大規模なイベントを実施することで知名度の上昇を狙ったものでした。今回は、SNSなどの宣伝に苦勞しながらも、オリエンテーション合宿で学んだアイスブレイク術や司会・進行の仕方、人に伝える手段を意識的に取り組むことが出来ました。新型コロナウイルスの感染が拡大してきている時期でもあったので、より安心してイベントに参加していただけるよう、地元の医師と代表と話し合い、サーキュレーターを導入しました。今回は団体で初めて保険に加入し、万全の体制で実施しました。これも活動の幅を広げるという意味では良い方向に向けることが出来ました。また、ウォークラリーイベントでは私の得意分野である歴史を發揮し、参加者に喜入の歴史について話せたことも工夫の1つです。

②の会計業務では、オリエンテーション合宿で心に残った、自分の能力を責めるのではなく、高めること、生かすことを意識し、より自分に合った業務体系を確立できたと思います。

③のPCDでは、地元で暮らしてきて、地域についての知識や感じていたことを細かく伝えていくためにメモ帳に書いて文章で説明したり、写真を撮る技術を学び、それを提供するなど、自分にできること、得意なことを活かしながら活動しました。また活動のなかでフィールドワーク時に気づいたことを推察しながらメモして、そのあとに郷土史やインターネットを使用して、解決するなどオリエンテーション合宿で身に付いた洞察力・観察力をフルに發揮し活動に貢献できたと思っています。

## 活動で得た学び・気づき

活動で得たものは数えられないほどありました。ですが、そのなかで私が1番得られてよかったと感じたことは「つながり」です。団体で活動していくと、これはできない・これは難しい・これはどうかな、とつい断定した考えになってしまい、閉鎖的になってしまいます。良い言い方をすると自分たちができることをと言いますが、悪い言い方をすると「周りを見ていない」となってしまいます。そこで「つながり」は大きな意味を持ちます。私は①のイベントでは外部から講師を招き、ともにイベントを開催しました。これは、私が講師の方の活動を知り、声をかけたことから始まりました。ここで得た大きな気づきは「自ら声をかけること」です。たとえ何事の自分から動かないと何もできない、動いた結果、うまくかみ合わないとなっても経験として残り、次に生かす糧となり、良い方向に転ぶと、サクサク進んで、良いイベントを実施することができます。現に私が企画・運営したイベントでもテレビ局の取材があり、多くの方に知ってもらった結果になりました。この経験から自ら「つながり」をつくるという点で名刺の必要性を感じ、代表、会長と相談の上名刺も作成し、地域活動をされている方や喜入地域の町内会長とお会いしたときにはお渡しするようになりました。

また、オリエンテーション合宿から実践活動までで得たものは、〈得意〉です。「私に得意なものはない」と私はオリエンテーション合宿までそう考えていました。しかしながら、合宿で強い志を持った同年代の考えに触れ、得意なものを探すのではなく、作ることで、そして少しでも得意と感じたものを追求していくことが〈得意〉を生かすことになることを学びました。地域の温かさも実践活動に取り組んだ中で学んだことの1つです。この「喜入マナビプロジェクト つわぶき」は中高生をメンバーとし、地域の小学生、中学生、高校生を対象に団体内のボランティアの方々に勉強の質問ができる自習室やイベントで学びの場を提供する特性上、どうしてもメンバー以外の地域の方、特に年配の方とはあまり関わりがありませんでした。しかし、実際に活動をしていくなかで、テレビ放送を見ていただいたり、孫から活動のことを聞いたりして、温かい目で見られていることを知り、改めて地域愛が深くなりました。そしてここでの気づきは自分とは関係なくても応援してくださる地域の方々の温かきマスメディアの情報発信力の強さです。今後もメディアの力を活用しながら地域に愛される活動をしていきたいです。

## 今後の展望・新たな取組み

12月18日曜日には「学びの祭典」というテーマで喜入マナビプロジェクト つわぶきのイベントがあります。今回は受験を控える中学3年生のメンバーを除き、ほとんどのメンバーが考えた企画や展示をこの一日で一挙に実施するもので、私は謎解きのクイズをトップバッターとして開催します。また、「つながり」という面ではイベントの開催場所として、「きいれば」という施設を予定しています。ここは地元の病院が運営している施設で、無償で場所を提供していただきます。この「きいれば」は地域貢献の想いを込めてつくられているコミュニティスペースで12月11日に完成予定の新施設です。私たち団体も活動しやすくなり、地域の子どものマナビが充実したものになるようにとの想いを込めてつくってくださっています。今後はこの「きいれば」とも協力し、定期テスト前にか開設できていなかった自習室を週1回の開設にしたいと考えています。そして今度のイベントでは前回のイベントの反省(宣伝)の貧弱性を踏まえて、SNSでの発信に工夫をします。例えば、Instagramではイベントで扱う問題と同じような例題を更新し、イベントの内容を分かりやすく伝えることで、イベントに来てくださる参加者増加を図ります。Facebookやブログではイベントに関係なく団体の小さな活動や少し話し合いをしたということも細かく話すことで、活動自体に興味を持ってもらえるように励み、Twitterでは短く、そして高頻度で宣伝するなど初めて尽くしとなりますが、これもオリエンテーション合宿や実践活動で学んだ挑戦の大切さを生かしたのようになっていきます。

年を越して、1月には風揚げのイベントを企画しています。私が③のPCDの活動で地元にある鹿児島市の施設の方と知り合い、団体に興味を持っていただきました。そこで施設の方に協力を仰いで開催したいと企画しています。

また来年度には参加者からの要望に応じて、新たにホームページを作成してイベント情報や団体の詳細、これまでの活動を載せて、利用しやすい環境の構築に努めていきたいと計画しています。

今後も地域活動をしていく中で壁にぶつかったときには今回の地域探究プログラムで学んだことを活かし、メンバーそして協力者の方々と共に乗り越えていきたいと思っています。

また、これからの人生の中で、多種多様なトラブルに直面するでしょう。それは初めて経験することがほとんどで何をするのが正解か分からないものがあると思います。しかし私はここで学んだ〈得意〉を自ら作り、生かすこと、そして人や地域との「つながり」を深めること、〈続ける〉こと意識して様々な問題に取り組んで生きていきたいと考えています。

主催：喜入マナビプロジェクト つわぶき

# 数の世界へようこそ

日時 8月7日(日) 9:30~11:40

場所 喜入公民館ホール (喜入支所)

対象 小学1年生~中学3年生(大人の方も大歓迎！)  
※小学1・2年生は保護者同伴

内容 計算ブリッジ大会 (講師：上野晋太郎さん)  
↑トランプを使ったかんたん遊びです(参考<https://youtu.be/G-9wZz1Zs>)

参加費 無料 申込 8/5まで

9:30 - 9:35	あいさつ
9:35 - 9:50	ルール説明 計算ブリッジについてお話しします
9:50 - 10:05	練習 大会に向けて作戦を立てよう！
10:15 - 11:25	大会 運を味方に！ 1位はフルーツ 詰めの合わせ！！ (1000円相当)
11:25 - 11:35	表彰式 シャッターチャンス♪
11:35 - 11:40	おしゃべりタイム

※後援：九州ろうまんがらの助成金で活動しています。

新型コロナウイルス感染対策のため、申込時に氏名・住所・電話番号の記入をお願いします。

© Kiire.manabiba@gmail.com



## 1. 地域探究アワードエントリー情報

エントリー希望	有	エントリー単位	グループ	ブロック	九州・沖縄
グループメンバー	氏名①	山下みこと		氏名③	
	氏名②	東琉斗		氏名④	

## 2. オリエンテーション合宿及び実践活動の基本情報

合宿実施先	国立大隅青少年自然の家		修了日	2022/7/18	カリキュラムのタイプ	A
フィールドワークの内容	川東掩体壕・鹿屋航空基地資料館、高須まち歩き					
実践活動期間	2022/7/18 ~ 2022/11/23					
活動のタイプ	発展的な活動					
協力者	主な協力者			協力内容		
	所属	薩摩スチューデント23アカデミー		イベントでの講師		
	氏名	上野晋太郎				
	所属	喜入子育てコミュニティKADAN		イベント・団体運営のお手伝い		
	氏名	亀井愛子				
	所属	きれい浜田クリニック		新型コロナウイルス関連、新施設		
氏名	濱田努					
協力者総数	17名					

## 3. 実践活動の記録

(1)総活動日数 全 27 日

事前:準備・打合せ	18日	本番:メインの活動	6日	事後:ふりかえり・報告	3日
-----------	-----	-----------	----	-------------	----

(2)活動成果の発信等

媒体	方法	回数	概要・備考
SNS	自ら発信	3回以上	Instagram、Facebook、Twitterで活動の様子を発信
テレビ	取材された	1回	地元テレビ局(MBC)でのイベントの様子の放映
その他	自ら発信	3回以上	鹿児島市の地域創生プログラムにて活動の様子を報告

(3)主な活動記録

活動日時	区分	活動場所	活動内容
8/4 ~ 8/4	①事前学習・打合せ等	YouTube	講師である上野氏のYouTubeチャンネルにてイベントの告知動画を投稿。
8/7	②実践活動本番	喜入公民館ホール	小学生以上を対象に計算ブリッジの大会を開催した。
11/3	①事前学習・打合せ等	喜入公民館	12月18日に開催するイベントの打ち合わせ及び今後の計画を立てた。
11/13	②実践活動本番	喜入町	喜入町でウォークラリーを開催した。
11/23	②実践活動本番	八幡温泉保養館	定期テスト前のボランティアの方々に質問できる自習室を開催した。